

**【施策評価調査】**

施策名	4-2-1	産業ネットワークの構築		109	町内事業所、経済団体、農業関係者、商工業関係者、行政等の情報の共有化や、有機的繋がりを推進することにより、関係者の融和と協調を強め、もって、雇用機会の増大や町内産業全体の活性化を図る。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部産業課	担当	商工業		商店や経済関係代表者、商工会員等で組織する経済活性化協議会を立ち上げ、町内の雇用状況等を含む情報の共有化や町内に立地する企業の交流活動を活性化させて、企業間のネットワークを強化し、新たなビジネス機会の創出を促します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	石川正佳		
環境変化	平成19年度より、砂部工業団地管理連絡協議会役員名簿に、町及び商工会の職員を1名ずつ増員し、それぞれ2名となった。 平成20年3月26日、高根沢町経済懇話会が発足され、町の経済を活性化するための体制ができた。平成20年5月16日農工商等連携促進法が成立し、7月21日施行された。				施策内容

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：経済活性化協議会の創設	平成16年度	計画		設立	運営		
		実績		設立	事業実施		
指標：雇用対策会議の創設	平成16年度	計画		設立			
		実績		設立			
指標：		計画					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	経済活性化協議会と雇用対策会議は、2つをまとめて実施する。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0		
	決算	0	0	0		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)				
経済活性化推進費	当初	0	協議会会員数	A	経済懇話会は、設立初年度のため、会員の融和と、町との信頼関係を築くことを重点に進めてきた結果、会員間や町とつながりが密になり、ネットワークづくりや循環型のまちづくりの基礎ができた。			
	決算	0	40社 / 20社		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初				今後の方向性(自己評価)			
	決算	/			今後の方向性(総合評価)			
	当初				今後の方向性(自己評価)			
	決算	/			今後の方向性(総合評価)			
	当初				今後の方向性(自己評価)			
	決算	/			今後の方向性(総合評価)			
	当初				今後の方向性(自己評価)			
	決算	/			今後の方向性(総合評価)			

**施策事後評価 20年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価		課題と今後の方向性	
		経済懇話会の初年度の事業として、会員の交流や、研修、町PR事業、技術支援事業などを行ったことにより、事業者間や行政との信頼関係が構築された。	経済懇話会が、民の力を発揮し、本町経済の活性化を図り、豊かな町を築くための貢献ができるよう、町は、関係機関と連携を密にし、会員とも課題を共有し、経済懇話会が目指す農工商連携を推進する。	
総合評価	■ 総合評価 ■ 経済懇話会が設立されたことを評価する。ただし、今後の施策展開の中で、政策自体が現在の情勢を考えて、妥当なものであるかどうか、改めて検討すること。その上で、経済懇話会は、農工商連携促進法を具現化させる組織であり、懇話会を中心とした施策展開を行っていくこと。			